

本設計は、「盛岡市歴史文化施設整備基本計画」(平成19年1月)及び「盛岡市歴史文化施設展示基本設計」(平成20年3月)にうたわれた基本コンセプトに基づき作成したものです。

本施設建設予定地及び周辺環境の特色

- ・盛岡の歴史の中心地としての時を刻んで来た盛岡城跡に隣接している
- ・日本の都市公園100選にも数えられる盛岡城跡公園の中にあり、四季折々の花々やイベントに市民が集う憩いと交流の場である
- ・周辺には今も城下町としての構造が残り、豪商、寺社などのたたずまいを通して城下町の雰囲気を感じられる

こうした環境を活かした整備を進めることで、歴史文化施設としての機能を発揮することが期待されており、その実現にあたっては、都市・盛岡のルーツを探るとともに、21世紀のまちづくりへとつなげられるよう、以下のコンセプトを掲げています。

基本コンセプト

## もりおか・城と城下町フィールドミュージアム

— 都市・盛岡のルーツを探り、21世紀のまちづくりへつなげる拠点施設 —

展示実施設計にあたっては、上記のコンセプトを踏まえ、歴史文化施設を中心に盛岡城跡と城下町（中心市街地）へ、さらにはより広い地域へと広がるミュージアムづくり、活動展開を目指します。その視点として以下のような点に留意した施設展開を考えます。

### 歴史的・文化的背景を活かした都市型施設としての整備

これからの施設は、自らの時間を豊かに過ごそうとする市民のニーズに応える施設であることが重要な要素となります。

都市・盛岡の歴史文化の中心地に整備する歴史文化施設は、歴史的環境を活かした学びの場としての魅力とともに、飲食物販スペースや交流スペースといったサービス施設の充実、個性ある活動など、施設の開放性とともに魅力あふれる都市型施設として整備を進めます。

施設整備においてもこれを意識し、歴史を学び継承できるとともに、豊かな時間を過ごせる場、さまざまな市民活動や交流の場として活用されるよう努めます。

### 「最大の展示物」である盛岡城跡と一体化した運用で新たな観光スポットとしての活性化を図る

近世盛岡藩の中心という歴史的な意味合いとともに盛岡発祥の地として、盛岡城跡のシンボル性を最大限に活かし、城跡を「最大の展示物」としてとらえます。積極的に展示や事業に組み込むことで、歴史文化施設と一体化した展開を図ることを目指します。

歴史文化施設から城跡へ、さらに城下町エリアへと、一体感と広がりを持たせた活動展開を想定し、中心施設を起点に人が集い、動き、周遊する、「歴史文化施設」と「城」と「城下町」が幾重にも相乗効果を発揮すること、盛岡城跡をさらに魅力的な観光スポットとして活性化することを目指した展示展開を追求していきます。

### 歴史の足跡が残る中心市街地を「城下町フィールドミュージアム」として整備

城下町として築かれた町割りを基礎に、重層的な時代の息吹が感じられる「町すじ」「町かど」「歴史的景観」などの盛岡の都市構造や中津川流域、旧奥州街道筋の町並みなど、歴史文化施設を中心に広がる周辺城下町エリアをフィールドミュージアムの「屋外展示」として位置付け、21世紀のまちづくりへと連動させることを目指します。

歴史文化施設から城下町エリアへの広がりを活動のあらゆる面で意識し、中心市街地の活性化を目指します。市の中心に位置する城下町エリアを活性化させることで、広域圏を含め、市全体が活性化することが期待されます。歴史文化施設はその拠点として重要な役割を果たします。展示においてもこうした点を意識した展開を図ります。

基本計画では、都市・盛岡そのものを題材として、そこに刻まれた「歴史」を読み解き、現代の盛岡と全ての展示は城と城下町に繋がっていることを明らかにすることを目指しています。

その実現にあたっては、様々な興味や関心などに応じて盛岡のルーツを探ることができるよう、1階の「文化観光交流ゾーン」と2階の「歴史文化展示ゾーン」の2つを設定しました。「文化観光交流ゾーン」では、集客観光を大きなねらいとしつつ盛岡を知る楽しさを提供し、「歴史文化展示ゾーン」は4つの展示（「南部家資料展示」「歴史文化展示」「常設テーマ展示」「企画展示」）によって、盛岡らしさを紐解いていきます。

展示基本設計にあたっては、それらをより具体的に検討した結果、1階の「文化観光交流ゾーン」では中心市街地や盛岡の「祭り」との連携を重視し、2階の「歴史文化展示ゾーン」では南部家資料を中心に歴史ドラマを感じる展示の実現を目指すこととします。

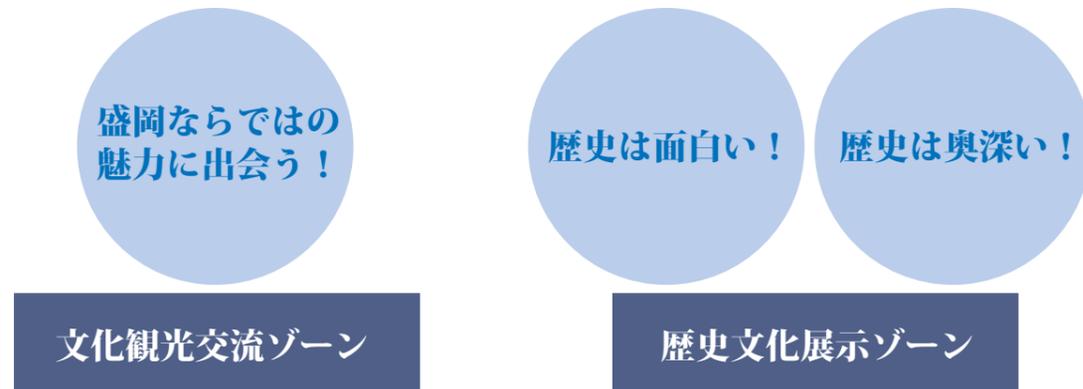
### ■基本コンセプト

1階は主として現在と未来を対象とし、2階は過去の歴史を対象として、1階と2階の展示を通じて随所に「都市と城下町」「城と城下町」のつながりを示します。

1階では、盛岡らしい「おもてなしの心」や祭り展示などの実現によって、“盛岡ならではの魅力に出会う！”場所であり、外部と連携する拠点として整備します。

2階では、城下町出現の背景、城と城下町、盛岡の近代化などのテーマと南部家資料を融合させることで、“歴史は面白い！”を実感するきっかけとなる展示」「歴史は奥深い！”を実感するきっかけとなる展示”を目指します。

これらの実現に向けては、それぞれの「基本方針」を定めて取り組みます。



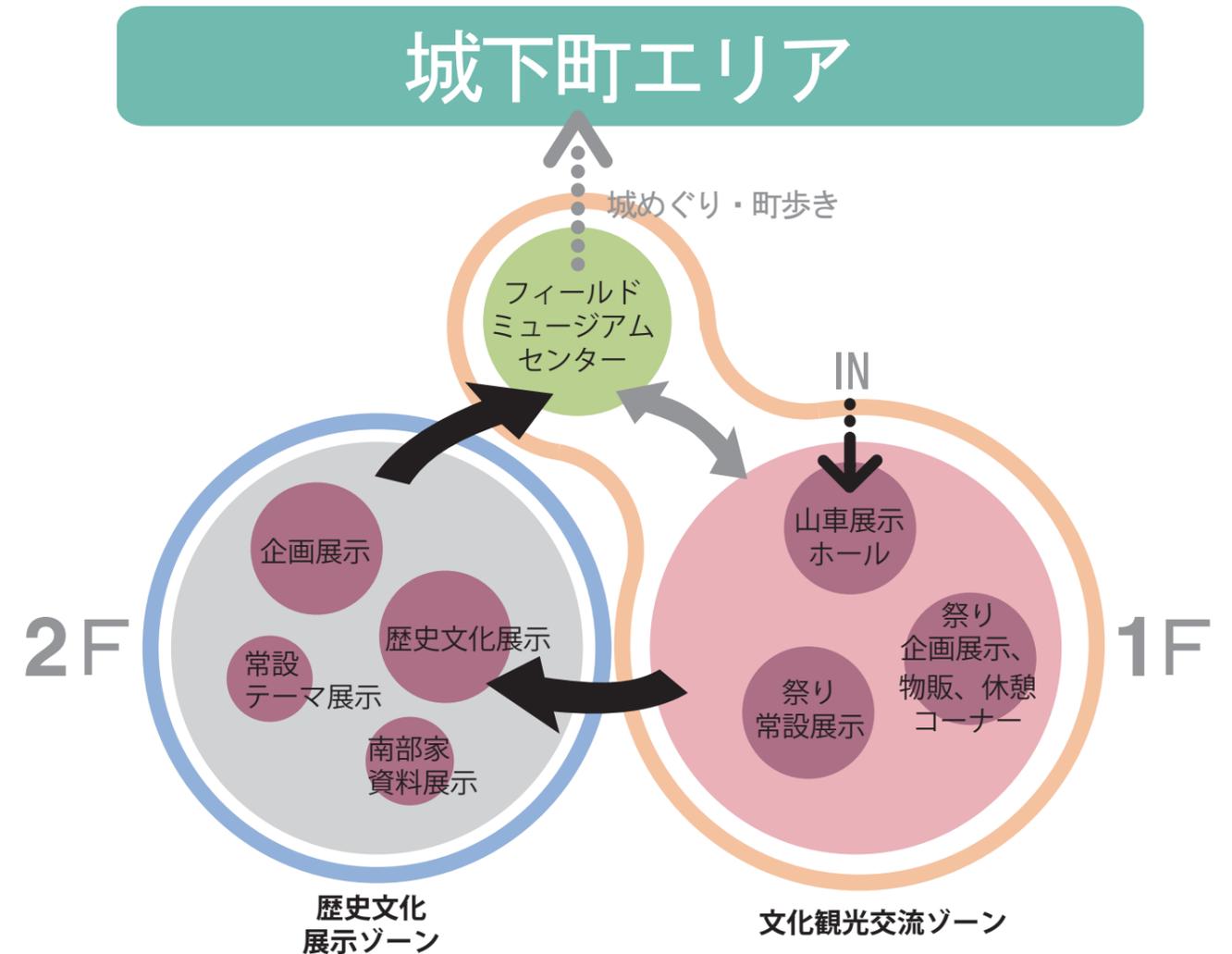
### 基本方針

- ・城下町そして都市もりおかの歴史をテーマに設定した展示を展開させます。
- ・資料を通して、その時代の人々の生活や動きが見えるような展示を目指します。
- ・国宝・重要文化財を企画展示できる環境を目指します。
- ・南部家資料やまちに伝えられてきた暮らし文化の価値を十分に引き出すような活用手法を検討します。
- ・観光客や子どもに配慮した展示・施設構成を目指すとともに多目的に活用できる施設設備を検討します。
- ・歴史的まちづくりなど、今日の盛岡の課題に呼応した展示を展開させます。

### ■展示の全体構成

施設全体の顔として、山車展示ホールで来館者を出迎え、1階は無料のゾーンで祭りをテーマに情報を展開し、2階は有料の歴史文化展示ゾーンによって構成します。

1階のフィールドミュージアムセンターを通して、城下町エリアとの積極的な連携を図っていく施設展開を目指します。



### 有料ゾーン

市民や盛岡を訪れた観光客が必ず足を運び、城下町盛岡の中に流れた様々な時間にタイムスリップできるようなスペースの実現を目指します。

### 無料ゾーン

祭りやイベントが通年体験できる機能や市街地散策のガイダンス機能等を充実させます。「まちなか観光」のスタートや締めくくり等で利用することができる拠点を目標とします。